

大学生生活の重点項目の時代の変化 (現代大学生論)

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

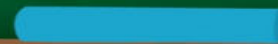
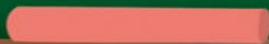
<http://smizok.net/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問

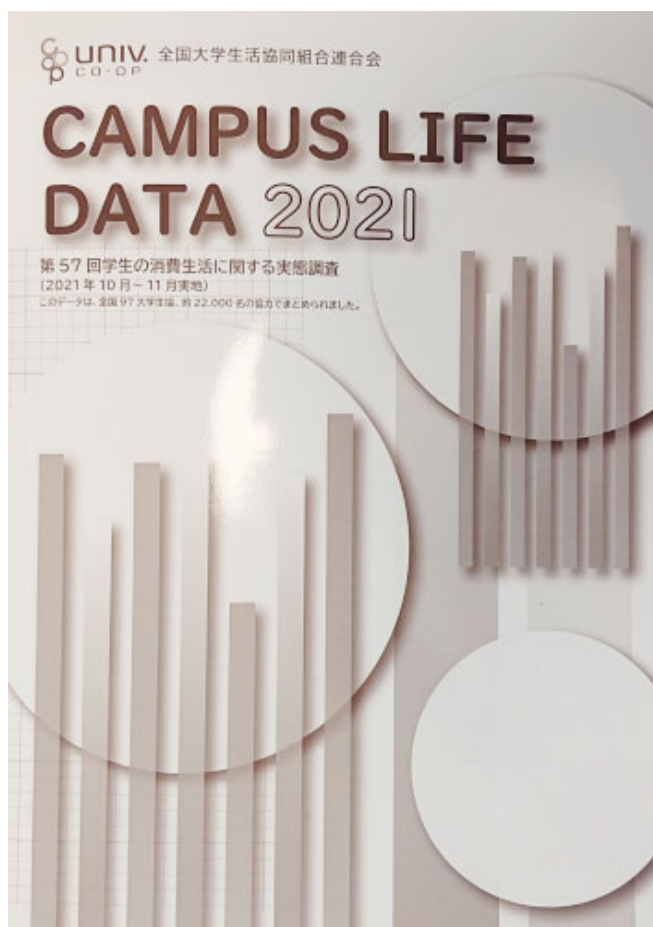
【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、准教授、教授を経て、2018年に桐蔭学園へ。2019年同理事長、現在に至る。桐蔭横浜大学学長(2020-2021年)。京都大学博士(教育学)。



※本動画は溝上が個人的に作成・提供するものです



全国大学生生活協同組合連合会



『CAMPUS LIFE DATA2021 第57回学生の消費生活に関する実態調査』

(2022年3月25日)

Q. 大学生活の重点

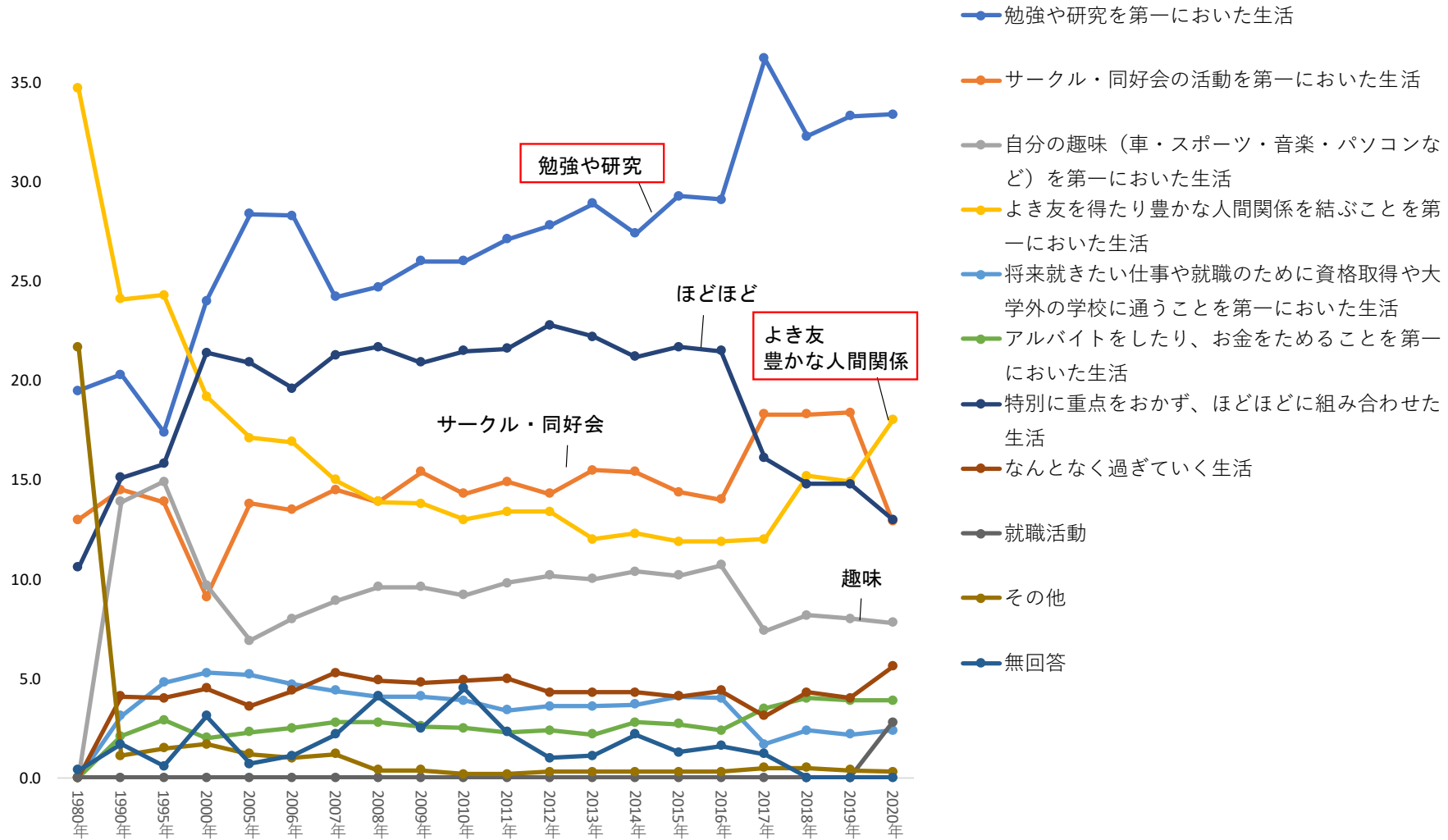
- 勉強や研究
- サークル・同好会
- よき友・豊かな人間関係
- ほどほど ほか



溝上慎一 (2010). 現代青年期の心理学—適応から自己形成の時代へ— 有斐閣選書

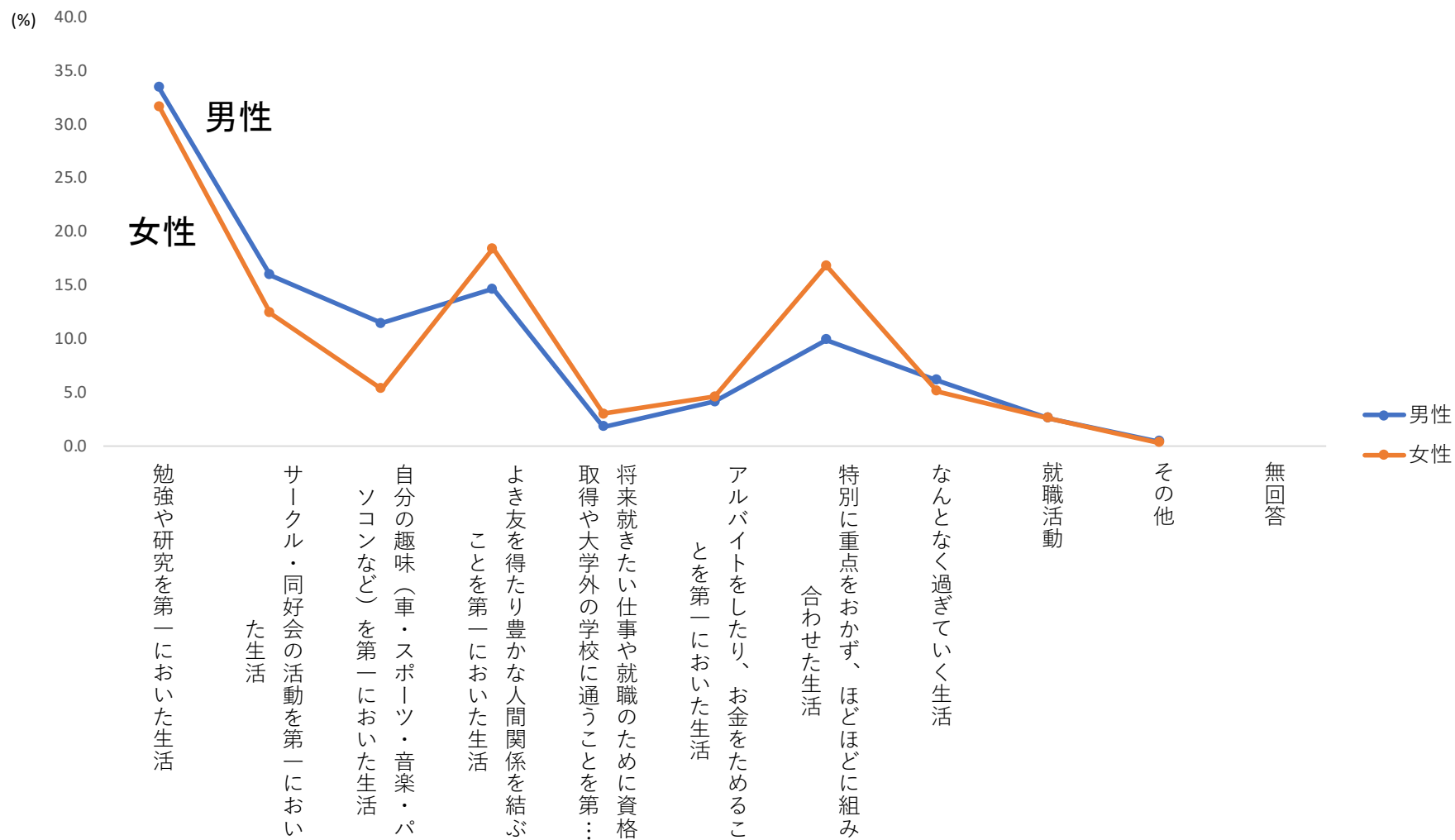
大学生生活の重点（1つだけ）

(%) 40.0

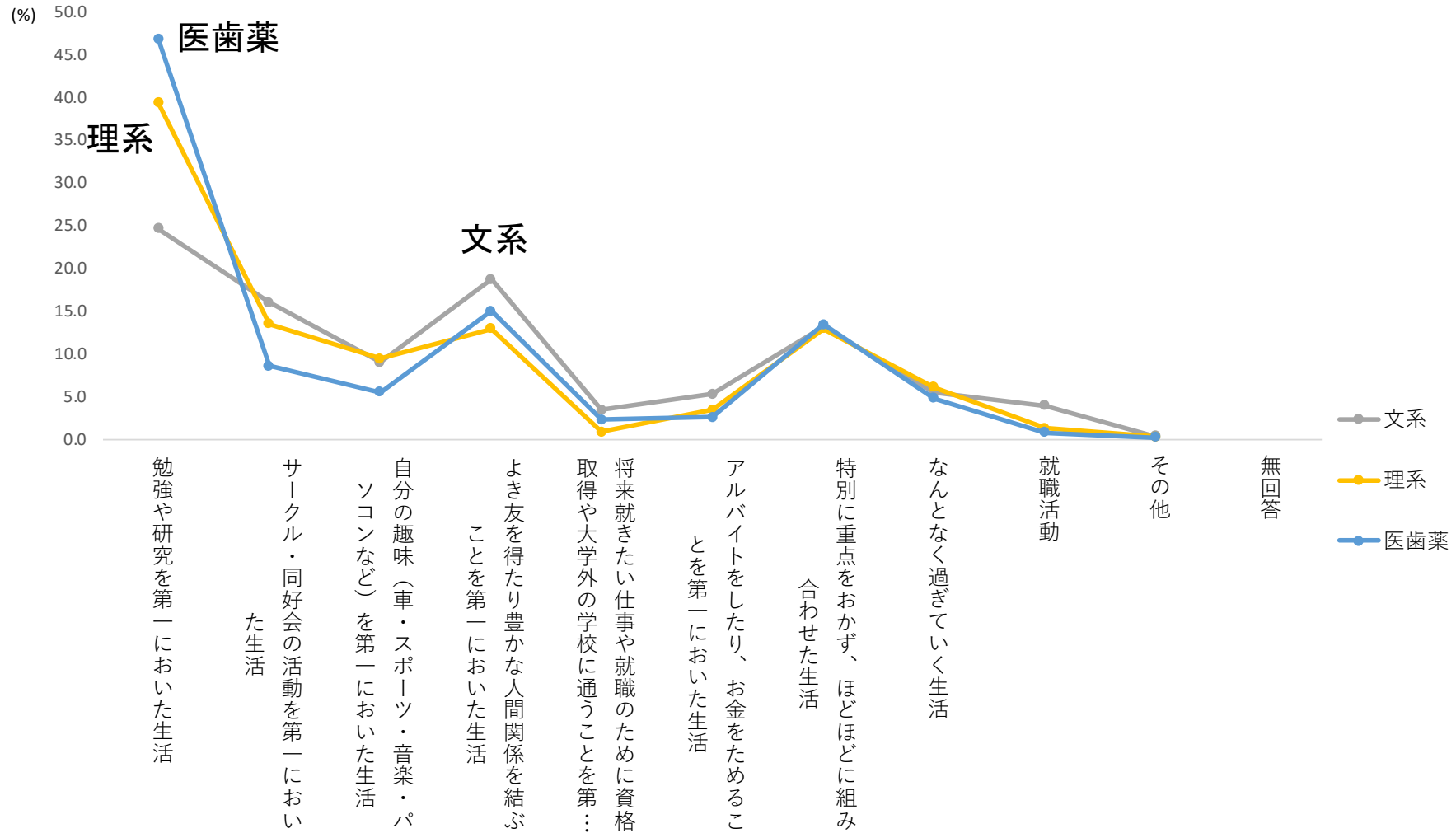


- 勉強や研究を第一においた生活
- サークル・同好会の活動を第一においた生活
- 自分の趣味（車・スポーツ・音楽・パソコンなど）を第一においた生活
- よき友を得たり豊かな人間関係を結ぶことを第一においた生活
- 将来就きたい仕事や就職のために資格取得や大学外の学校に通うことを第一においた生活
- アルバイトをしたり、お金をためることを第一においた生活
- 特別に重点をおかず、ほどほどに組み合わせた生活
- なんとなく過ぎていく生活
- 就職活動
- その他
- 無回答

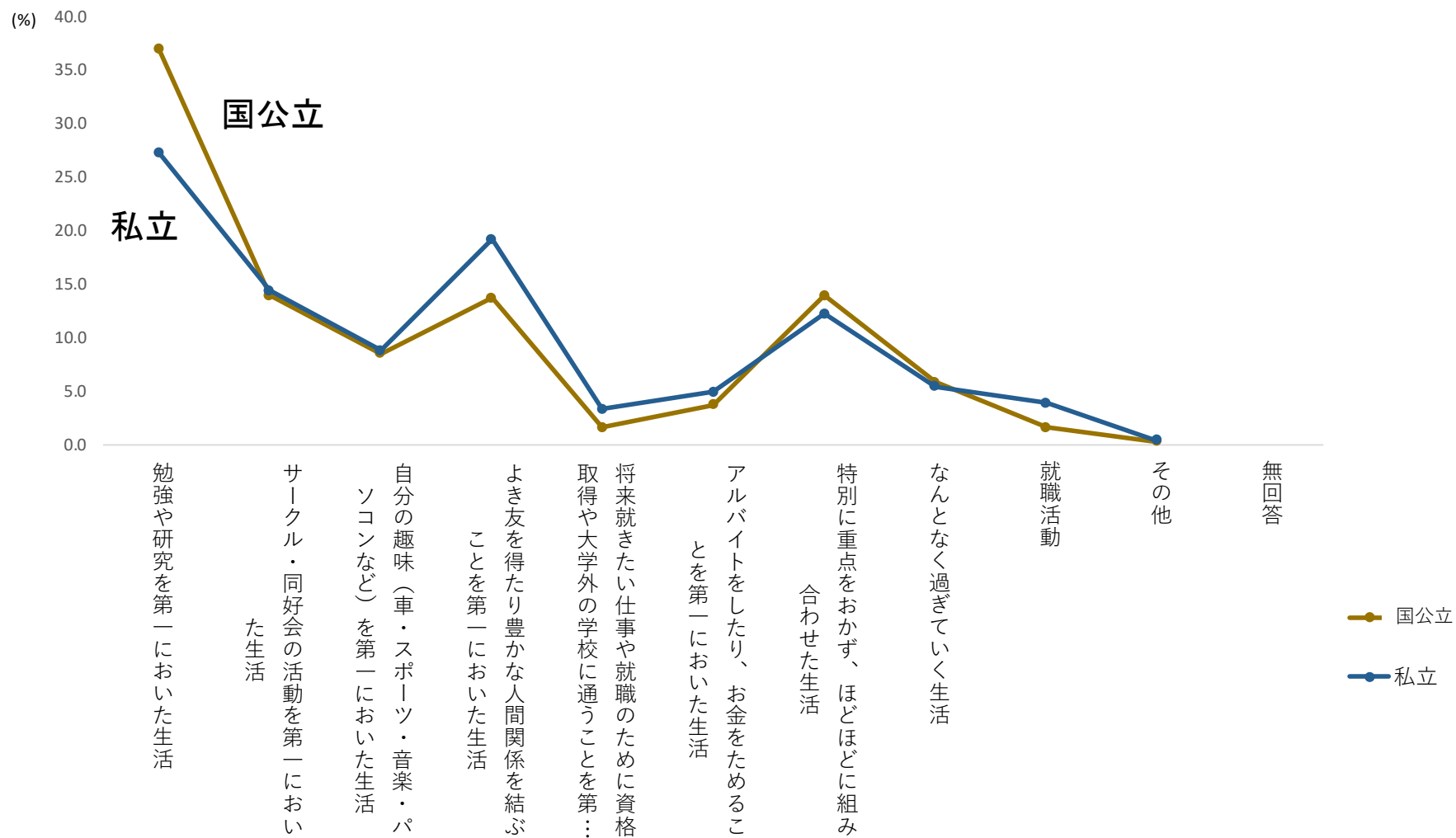
男女



文系・理系・医歯薬



国公立・私立



公益財団法人 電通育英会

『大学生のキャリア意識調査2019』 報告書（2020年10月）

『大学生のキャリア意識調査2019』
報告書

2020年10月
公益財団法人 電通育英会

◆調査について：

電通育英会主催の『大学生のキャリア意識調査』は、大学生の学習を含む生活実態やキャリア意識などを調べる全国調査です。2007年より3年おきに実施しています。結果は、電通育英会のウェブサイト

<https://www.dentsu-ikueikai.or.jp/transmission/investigation/about-2/>

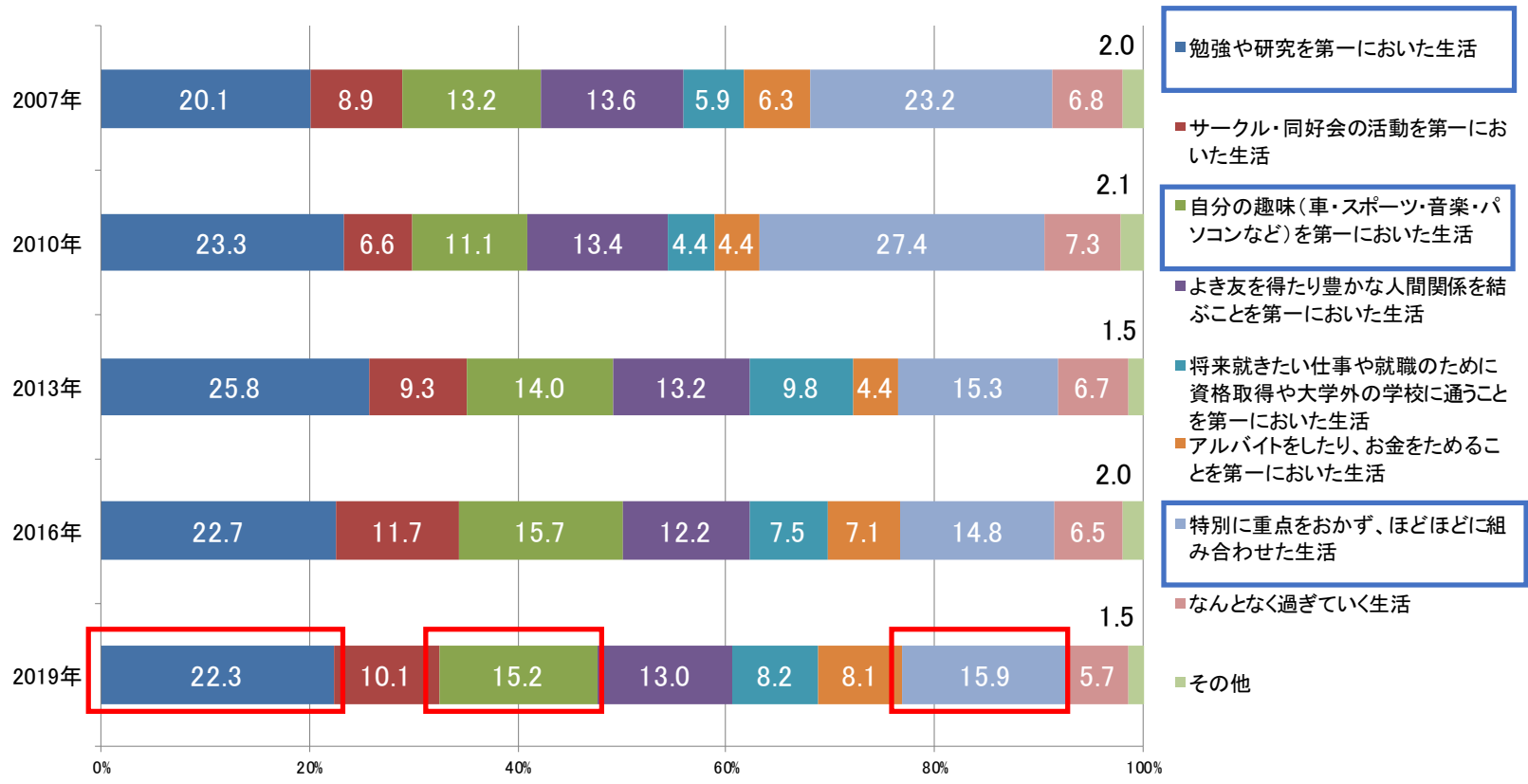
に公開されています。

◆調査年：

- ・ 2007年調査
- ・ 2010年調査
- ・ 2013年調査
- ・ 2016年調査
- ・ 2019年調査

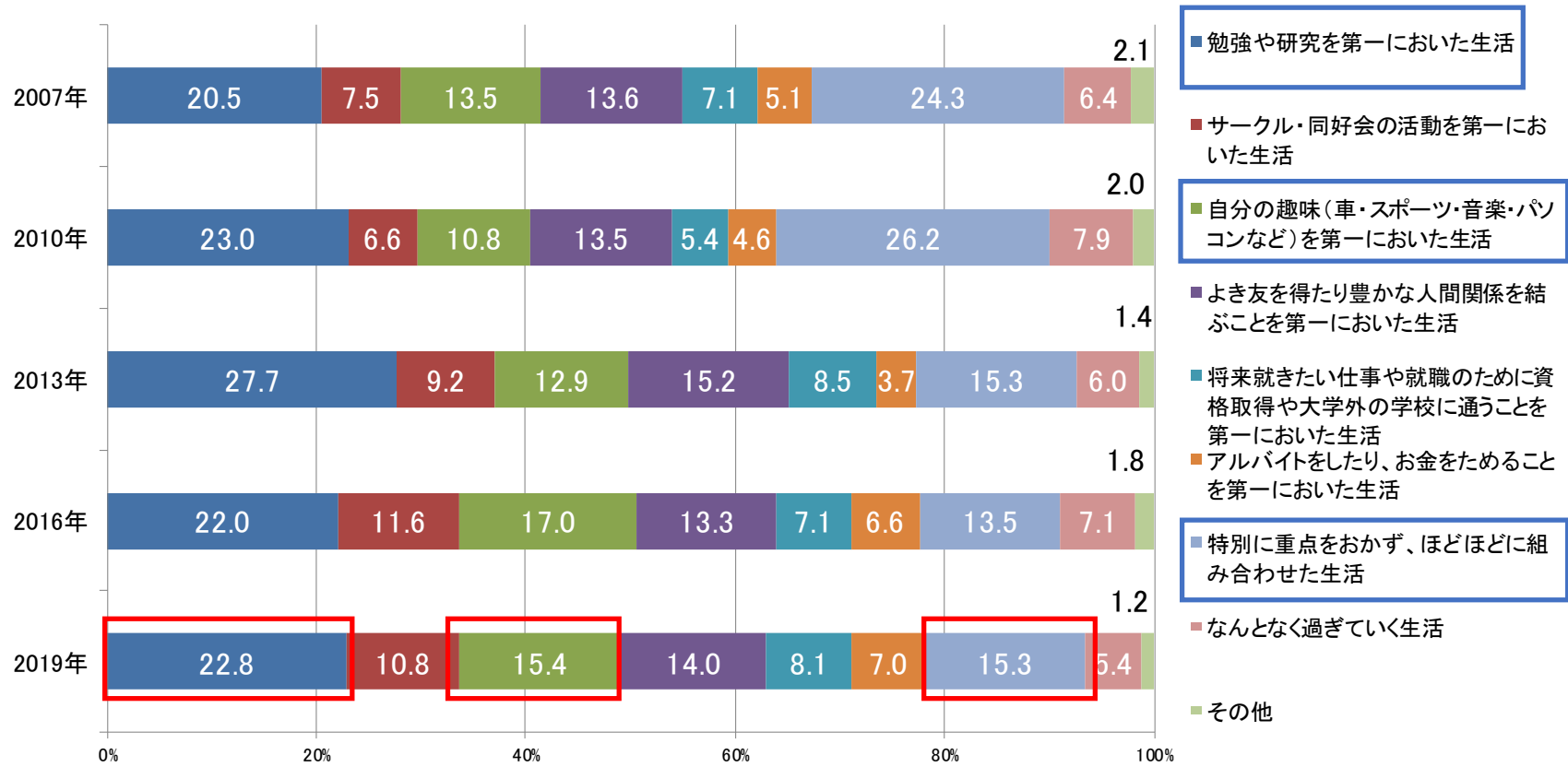
Q3. 大学生活の中で、現在最も重点をおいていることを下から選んでください。（1つのみ）

全体

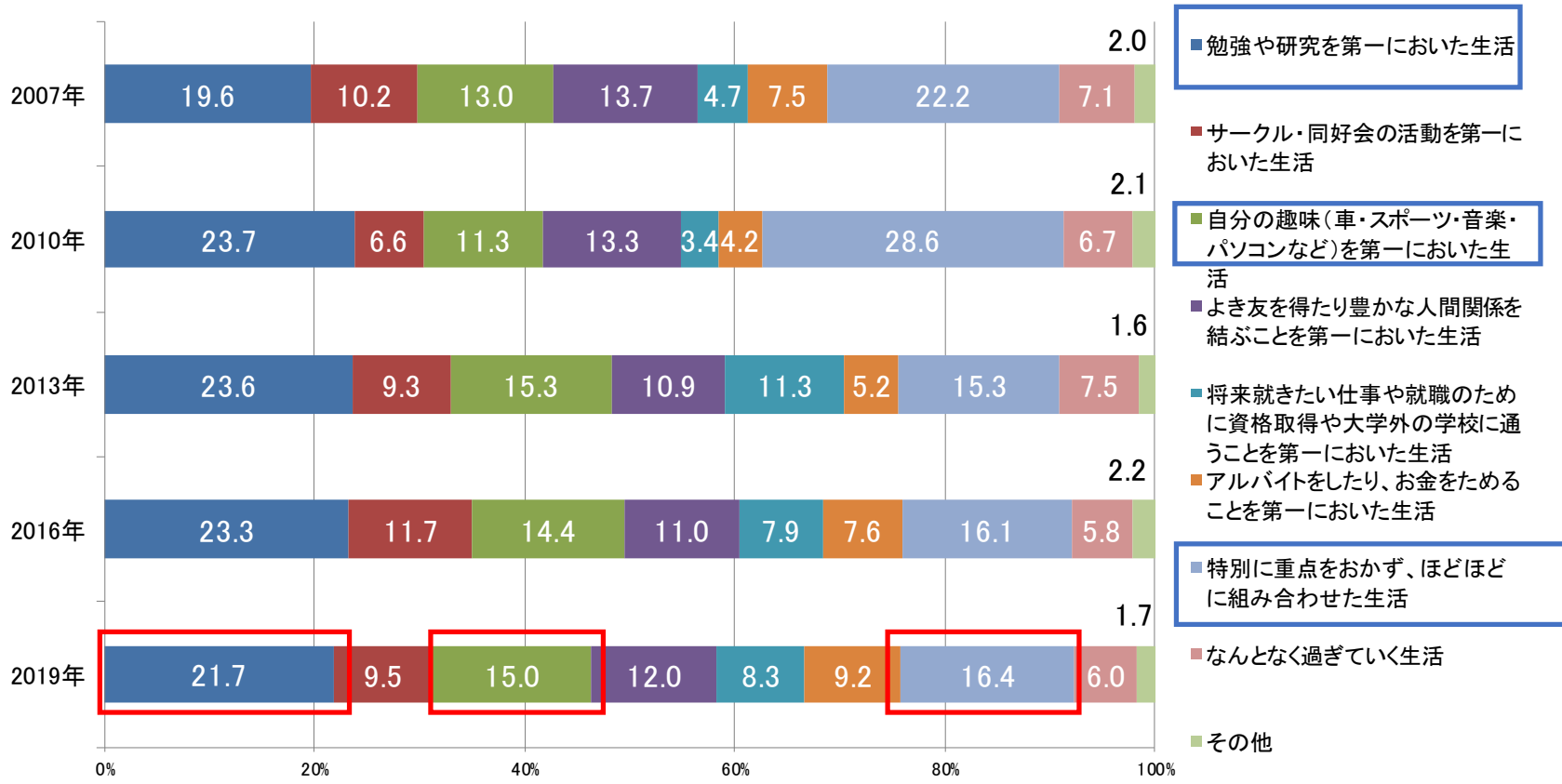


> 全国大学生生活協同組合連合会 『学生の消費生活に関する実態調査』

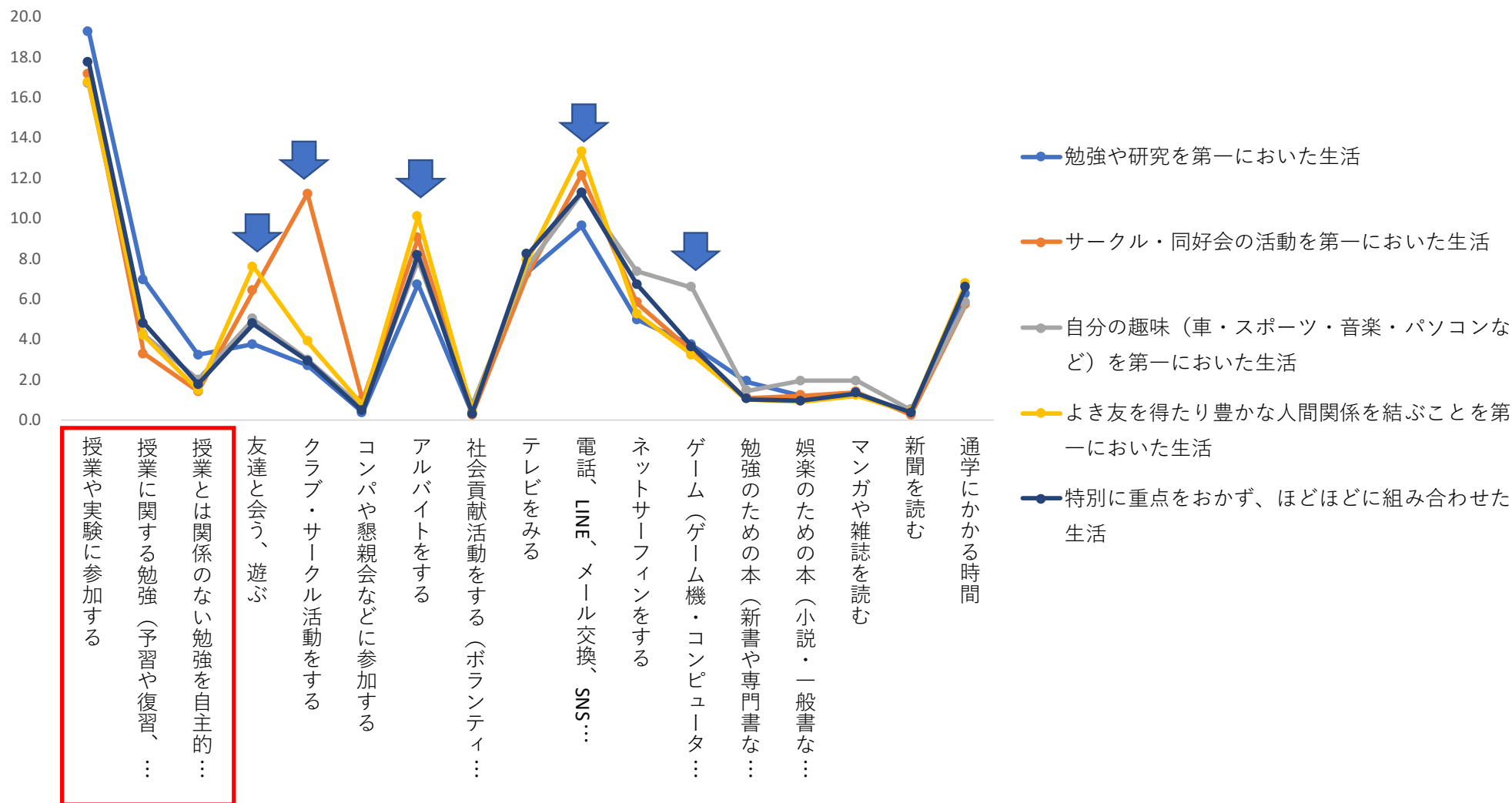
1年生



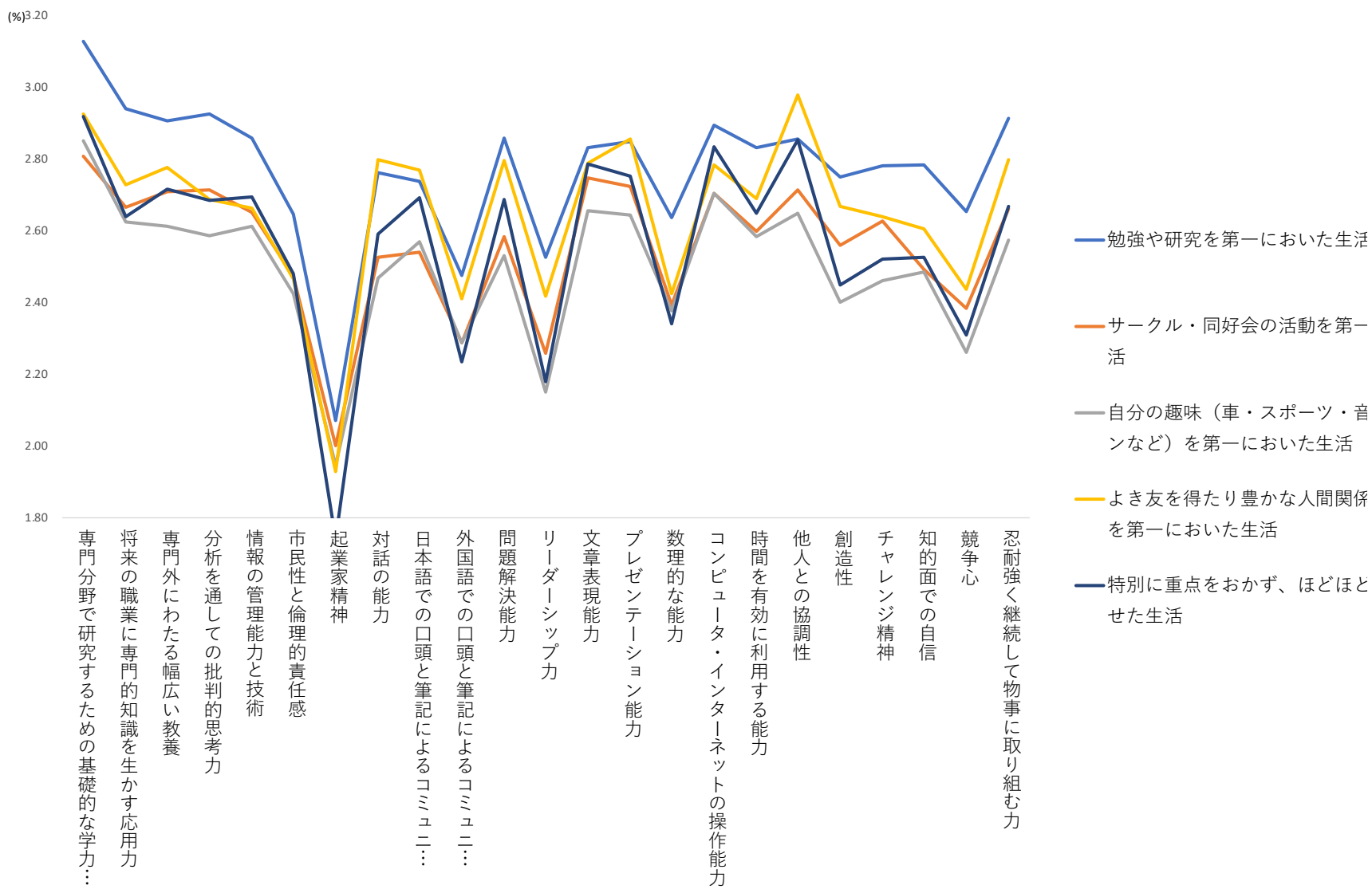
3年生



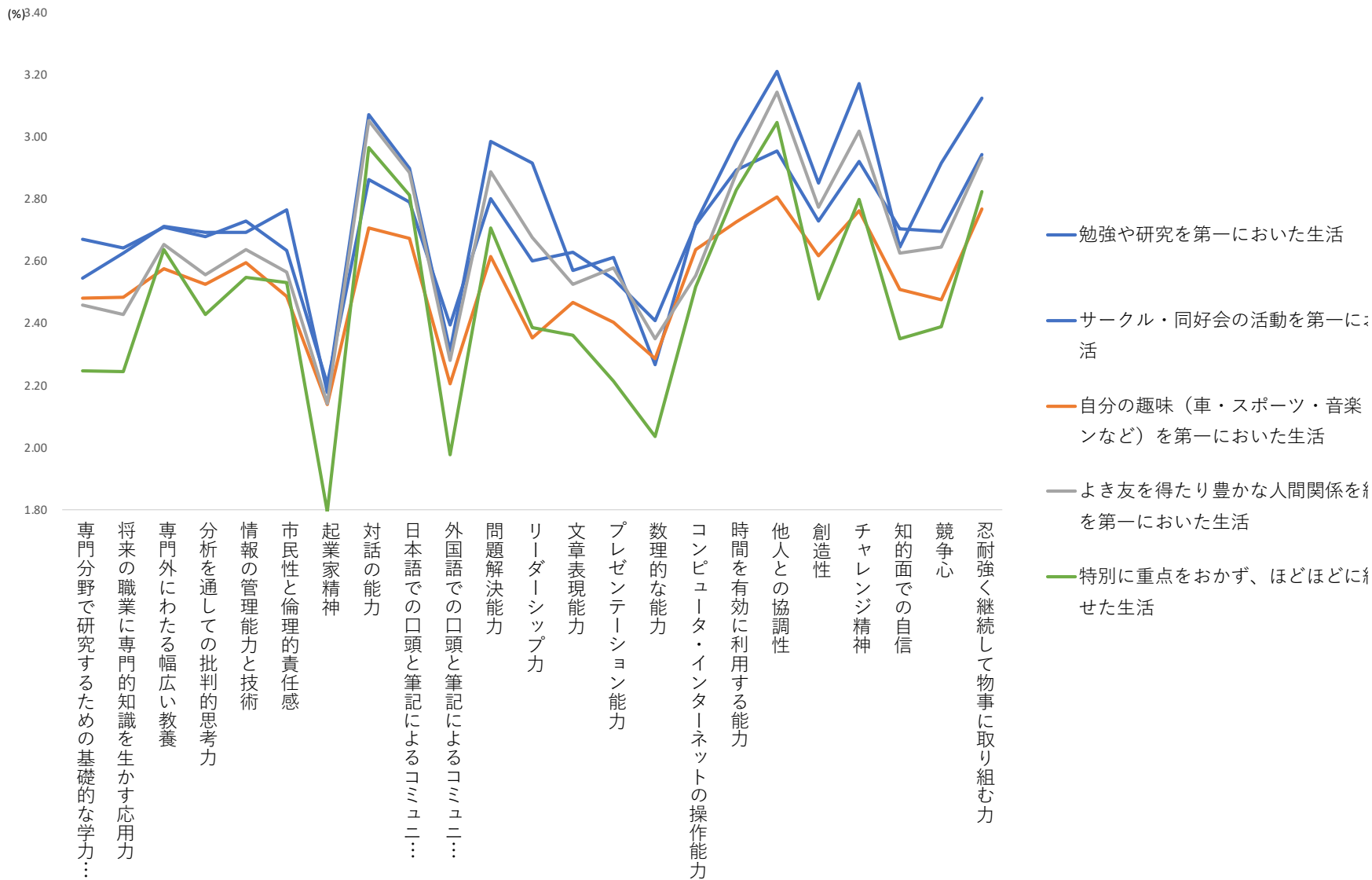
大学生生活の重点×1週間の生活



大学生生活の重点×資質・能力の獲得（授業）



大学生生活の重点×資質・能力の獲得（授業外）



ご視聴有難うございました
チャンネル登録をお願いします

質問、コメントは個人メールで受け付けます。
E-mail mizokami@toin.ac.jp

- お名前、ご所属

※可能なら専門分野や教科、職位なども教えてください、回答の助けになります。
なお、動画内では個人のお名前等は出しません。

- 質問、コメント等

